



# 松 明

(令和3年7月発行・隔月発行) 2021 vol.4



P2 「院内研修の紹介」より

## 患者さんへの新型コロナワクチン接種について

医事企画連携室 経営企画室長 畠山卓士

当院では、5月24日から65歳以上のかかりつけの外来患者さんへの新型コロナワクチン接種が行われています。接種体制を十分に確保することが難しいことから、かかりつけの患者さんを対象に行っています。5月に入った頃から接種の問い合わせを多くいただきましたが、お断りすることもあり、市民の皆様がこのワクチンに対する期待の大きさを実感したところでした。

接種する前は、緊張の面持ちの方もワクチン接種が終わると少し安堵した表情で帰宅される様子を見て、早く元の生活様式に戻れる日を皆さん望んでいると感じました。

6月8日からは、1病棟の入院患者さんへの接種も始まり、患者さんの日々の体調に配慮し、接種を行っています。7月14日からは基礎疾患を有する患者さんへの接種が開始され、重症心身障害病棟での接種も開始しました。

重症心身障害患者さんへの新型コロナワクチン接種の実績は、研究段階でも実績がなく、より慎重に接種を行う必要があります。病院職員一同、安全には十分配慮して臨みますので、ご安心いただければと思います。

また、4月27日から医療従事者等の優先接種が行われておりましたが、7月2日に接種が完了しました。期間中、発熱や頭痛などの副反応はありましたが、大きな

事故等もなく、無事終わることができました。偏に福島県や県中保健所、須賀川市、医師会職員の方々等のお力添えの賜物です。この場を借りて深く感謝申し上げます。ワクチン接種は、来年2月までとされていますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、デルタ株など変異株が懸念されています。引き続き職員一人一人が感染防止を意識し、当院の理念「納得の医療で地域や社会に貢献」を実現して参ります。



### 本号のご案内

- 患者さんへの新型コロナワクチン接種について…………… 1
- 療育だより オーロラや流星群をみて～プラネタリウム鑑賞～ …… 3
- 看護部だより 院内研修の紹介…………… 2
- 健康プラザ 当院の形態調整食について…………… 3
- 外来担当医表…………… 4

## 納得の医療で地域や社会に貢献

### 病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

## ●キャリアラダーレベルⅠ研修発表会

当院では「倫理的思考のもと対象を科学的に捉え、協働で対象の持てる力を引き出す看護師」の育成を目指し、1年目の卒後教育から中堅・ベテラン看護師の継続教育まで、誰もが学び・成長し続けられるようにキャリアラダーによるキャリア形成の支援を行っています。

キャリアラダーレベルⅠでは、倫理研修・ケース展開を行いました。日々の看護実践を倫理的な視点から振り返ることで倫理観の醸成と、患者を捉え、適切な看護を考察し、実践する力を養ってきました。発表会では研修生一人ひとりが、真摯に患者様に向き合い、適切な看護とは何かを考えた様子がうかがえました。ケースの展開を通し、『根拠を明確にし、患者を捉えることの大切さ』『チーム看護の大切さ』『多職種との協働の必要性』など多くの学びと気づきを得ることができたとの声が聞かれました。また、『チーム内で話し合いくより良いケアを目指そう』という動きがチーム内でみられた』という研修生もおり、各部署で「看護の質の向上」を目指す意識が高まっています。

今回キャリアラダーレベルⅠを受講した研修生のほとんどが次のステップのキャリアラダーレベルⅡにチャレンジしています。これからも看護部全体で継続学習と看護の質を高めることができるように、取り組みを支援していきたいと思えます。



## ●静脈内留置針研修

新人看護師が働き始めて約3か月が経過し、病棟内で先輩看護師と振り返りを行ったり、コミュニケーションをとりながら、頼もしく成長している姿がみられるようになりました。現在は見守りのもと重症度の高い患者様を担当するようになり、7月からは夜勤も始まります。

看護技術も研修を通し、一つ一つ根拠をふまえながら学んでいます。6月17日・24日に静脈内留置針研修では、モデル人形を使用し、注射の準備・留置針の穿刺・抜針まで一連の流れを実施しました。研修では、留置針や点滴準備の技術だけではなく、患者様への声かけなどの配慮も行えるように意識し、取り組む様子が見られました。今後モデル人形を用いての練習や技術チェックを経て患者様へ安全に実践できるように、病棟スタッフと連携し、振り返りや技術の習得に向けサポートをしたいと思えます。



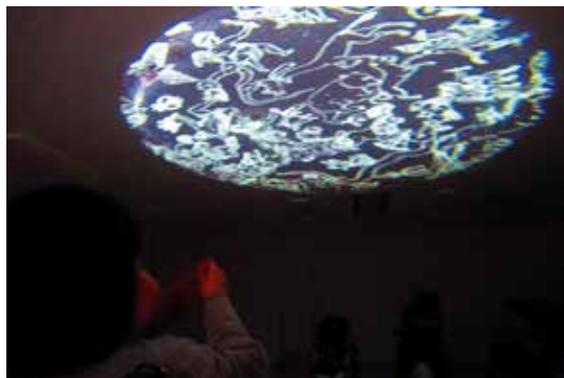
昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症により保育活動が制限・中止されてしまいましたが、病棟内でのプラネタリウムを今年も上映することができ、患者様たちはお部屋や療育棟で天井に投影された星空を見ることができました。

今回は新たに流星群やオーロラを映像としてみることでできた事、大人向けと子ども向けの2種類があり、星座に関するナレーションや映像が対象者の年齢に合わせた鑑賞内容となりました。

それぞれの始まりにこいのぼりや新緑の草花の映像が心地よい音楽とともに映し出されて、その映像や音楽からリラックスした様子で患者様たちは天井を見上げていました。特にオーロラが天井に投影されると、みどり・青等のグラデーションがかった神秘的な映像に、目を奪われている様な患者様もいらっしゃいましたし、普段滅多に見られない夜空の映像にスタッフも楽しめていたと

思います。子ども向けの映像では、みんなで一斉に惑星を持ち上げる場面が見られ一体感が生まれとても感動的でした。

約20分の上映でしたが、いままでとは違った充実した内容だったので、あっという間に終わってしまった様でした。患者様たちにとって思い出に残るプラネタリウムとなったのではと思います。



当院は重症心身障害児（者）病棟と神経内科及び内科の療養病棟を有する慢性期病院です。現在、栄養管理室では両診療科におけるキーワードの「嚥下障害」に対し、より質の高い嚥下調整食の提供が行えるよう取り組んでおります。一昨年度より、手作りソフト食の提供を目指し、栄養管理室の“業務改善”から始め、少しずつではありますが環境が整ってきました。現時点で手作りソフト

食として提供している食材は約22種類ですが、これからさらに増やしていく予定です。他施設と比べるとまだまだ未熟ではありますが、味覚はもちろん視覚からも楽しめるようなソフト食を目指して今後も調理師と協力し取り組んでいきたいと考えています。また、ソフト食だけではなく主食やとろみについても、「安心安全な食事の提供」の理念のもと、検討を重ねているところです。

お好み焼き：常食



お好み焼き：手作りソフト食



“お好み焼き”をソフト食で提供。常食と変わらない見た目提供することができ、患者様にも好評でした。

七夕うどん：常食



七夕うどんの具：手作りソフト食



七夕をイメージしてソフト食の人参を星形にしました。

## ●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和3年7月1日より】

| 区                      | 分 | 月   | 火                 | 水                     | 木       | 金         |
|------------------------|---|---|-------------------|-----------------------|---------|-----------|
| 内 科                    | 1 | 安 田 千 尋                                     | 安 田 千 尋           |                       |         | 安 田 千 尋   |
| 内 科                    | 2 | 佐 藤 由 紀 夫<br>(第1・3)                         |                   |                       |         |           |
| 内 視 鏡 検 査              |   |   |                   |                       | 安 田 千 尋 |           |
| 脳 神 経 内 科              |   | 伊 藤 英 一                                     | 根 本 和 夫           | 伊 藤 英 一               | 根 本 和 夫 | 杉 浦 嘉 泰   |
| 小 児 科                  |   | 福 島 医 大                                     | 石 井 勉<br>氏 家 二 郎  | 石 井 勉                 |         | 河 原 田 勉   |
| 専 門 外 来<br>(発達小児クリニック) |   |   | 石 井 勉<br>氏 家 二 郎  |                       |         | 河 原 田 勉   |
| 専 門 外 来<br>(小児神経外来)    |   | 石 井 希 代 子<br>(第1・3)<br>平 山 恒 憲<br>(第2) 再来のみ |                   | 石 井 希 代 子<br>(第2・4・5) |         |           |
| 専 門 外 来<br>(小児循環器外来)   |   |   |                   | 桃 井 伸 緒<br>(第2・4)     |         |           |
| 小 児 専 門 外 来            |   | 予 防 接 種<br>(午後)                             |                   |                       |         |           |
| 整 形 外 科                |   | 古 川 浩 三 郎                                   |                   | 古 川 浩 三 郎             |         | 古 川 浩 三 郎 |
| 小 児 外 科                |   |   |                   |                       | 清 水 裕 史 |           |
| 脳 神 経 外 科              |   |   | 福 島 医 大<br>(第2・4) |                       |         |           |

### ●完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。

- 受付時間は**午前8:30～11:00**までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和3年7月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認ください。

### ●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 9:00～17:00)  
診療の予約・変更等 (月～金 15:00～17:00)

**専用ダイヤル 0248-75-2259**

### ●編集後記●

コロナ禍になってから、実家に帰省しづらくなっておりますが今、某局で故郷を舞台とした朝ドラを視聴して、帰省した気分を味わっています。また、少年時代に夏休みの度、毎日のように通った海水浴場が10年ぶりに再開するというニュースを目にして、ノスタルジーを感じ、久しぶりに帰省したいと思う今日この頃です。(編集委員 H・T)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 **福島病院**

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地  
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>